



< 20-07 >

2020年5月

先生各位

検査受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記検査項目の検査委託先より連絡があり、測定試薬の販売中止に伴い、本年6月30日をもって検査の受託を中止することになりました。

先生方にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご高承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■ 検査受託中止項目：

・カンジダ抗原

[項目コード:1679]

■ 検査受託可能最終受付日：

2020年 6月 30日 (火) 受付分まで

● 関連項目:カンジダマンナン抗原

[項目コード:3126]

以上

※ 裏面をご覧ください。

●関連項目(ご参考):カンジダマンナン抗原

真菌には糸状菌と酵母菌の二種類があり、真菌感染症は大きく水虫のような表在性のものと、身体の内部に侵入して血液や臓器に感染する深在性真菌症に分類することが出来ます。

特に深在性真菌症は免疫機能などが低下した患者に日和見感染症として発症することが多く、しばしば重篤になることがあります。

原因となる真菌にはアスペルギルスやクリプトコックスなどがありますが、中でも酵母菌であるカンジダは深在性真菌症の重要な原因菌とされています。

カンジダ症の検査としては抗体検査はあまり実施されておらず、従来から抗原系検査として真菌培養、血清中の易熱性糖蛋白抗原やD-アラビニトールを検出する検査が行われてきました。しかし真菌培養は一般細菌培養と比較して培養時間が長く、他の検査も感度・特異性共に十分なものとは言えず、より迅速・簡便で優れた検査が求められてきました。

「カンジダマンナン抗原」検査は血清を用いてカンジダの細胞壁の主要構成成分であるマンナン抗原を検出します。本検査は、カンジダ症の主要な原因菌である *C. albicans* を始めとして *C. tropicalis* や *C. glabrata*、*C. parapsilosis* などとも反応し偽陽性も少ないため、広くカンジダ属による深在性真菌症を診断するために有用な検査です。

近年、移植医療や化学療法の進歩、および高齢化による免疫機能低下などで日和見感染は増加傾向にあります。また、優れた抗真菌薬も登場しており、主要な日和見感染症であるカンジダによる深在性真菌症を早期に診断し、治療を開始することは患者の予後改善に重要と考えられます。

項目コード	3126
検査項目名	カンジダマンナン抗原
検査方法	EIA
検体量・保存方法	血清 0.4mL ・ 冷蔵
基準値・単位	0.05 未満 U/mL
所要日数	2 ~ 6日
報告範囲	0.00 ~ 最終値
報告桁数	小数第2位
検査実施料 / 判断料	134点 / 144点(免疫学的検査)
備考	フィブリン析出時の除去に竹串を使用しないでください。